

このたび安成工務店では、  
長年にわたり代表を務めてきた社長が会長に就任し、  
新たに社長が就任いたしました。  
これまで受け継がれてきた想いや歩みを大切にしながら、  
次の時代へと進む新体制がスタートします。  
今回は、新社長にこれまでの経験や仕事への想い、  
そしてこれからの安成工務店について話を伺いました。

# はじめまして、 中村です。

2026年2月より、代表取締役役に就任します。

## Profileプロフィール

- 中村 圭 (なかむら けい)
- 出身地：山口県山陽小野田市生まれ、山口市育ち
  - 入社年：2019年
  - 前職：山口フィナンシャルグループで22年勤務
  - 現在の役割(これまで担当)  
経営企画(人事・資本政策・財務など)、グループ経営管理、M&A、新規事業開発、公民連携事業やすらガーデンのエリアマネジメント、子会社経営など

## 趣味・休日の過ごし方

ロードスターでドライブ(すれ違う車と手を挙げて挨拶=「イエー」するのが好き)

## 子どもの頃の夢は？

プロサッカー選手(小学校の卒業文集では、そう書きました。)

## 好きな食べ物は？

ぱりそば(高校時代のソウルフードです。)

社長就任が決まった時、率直に  
どのような気持ちでしたか？

安成工務店は創業75年、そして先代が約40年に渡って務めてきた、歴史ある会社です。そのバトンを受け取ることに、プレッシャーというより「覚悟」を強く感じました。これまで積み重ねてきた信頼を次の世代へきちんとつないでいくこと。その責任を受け止めながら、その期待を超えていけるよう、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

周囲からはどのような  
性格だと言われますか？

自分で言うのも少し照れますが、「面倒見がいい」と言われることが多いですね(笑)。放っておけない性格で、まずは自分から差し出すこと、いわゆる「ギブ」を惜しまないことは、昔から大切にしてきました。一度決めたことは最後までやり切る。その姿勢は、これからも変えずに、いたいと思っています。

これまでの経験で  
印象に残っていることは？

最近のことで言えば、「やすらガーデン」で

のプロジェクトに携われたことは、とても大きな経験でした。日々たくさんの方が訪れるベンチなどで、それぞれの過ごし方を楽しんでくださっています。実際に利用者の方から「今日は特に用事はないけど、なんとなく来たいよ」と声をかけていただいたことがありました。その一言を聞いたとき、建物や施設だけでなく、安心した空間をつくられているのかもしれないと感じました。まちづくりに関わった実感とともに、住まいづくりにも通じる大切なヒントをもらった気がします。また、34歳の時に大きな病気を経験したことも、人生の転機でした。その時、「日々を丁寧に生かすこと」「誰かの役に立つ仕事があった」という思いが、より強くなりました。今の仕事への向き合い方の原点になっています。

仕事をやる上で  
大切にしたいことは？

「一番は感謝をきちんと伝えること」ですね。そして、やるべきことを後回しにしないこと。信頼関係は一朝一夕で築けるものではなく、日々の積み重ねによって貯金されていくものだと思います。

また、会社は明るい場所でありたいとも思っています。挨拶や何気ない声かけひとつで、「明日もここで頑張ろう」と思えるそんな職場づくりを、これからも目指していきます。

お客様との関係でこれからも  
大切にしたいことは？

「信頼」と「期待」を二歩でも超える仕事です。お客様が想像していなかったような、そんな使い方があるんだ」「そこまでしてくれるの?」と感じていただける、ひと手間のある提案や対応を大切にしていきたいですね。住まいづくりを通して、感動を届けられる存在であり続けたいと思っています。

やすらぎ通信を読んでいる  
お客様へ一言

いつも安成工務店をご愛顧いただき、本当にありがとうございます。これからも、皆さまの期待を超える仕事を重ね、より多くの感動をお届けしていきたいと考えています。お客様の声は、私たちにとって何よりのエネルギーです。どうぞお気軽に、ご意見やご要望をお聞かせください。